

リウマチ（痛み）からアトピー（痒み）へ クラススイッチした方の手記

「リウマチ性多発筋痛症（時系列による経過報告）」

匿名希望 KF 72歳

2015年8月28日

今から遡る事、三年前。右足土踏まずに湿疹が発現し、皮膚科で診察をして貰うと「体の免疫が落ちていますね」と言われ、軟膏と内服薬を処方してもらった。その前後には歯痛で頻繁に通院して、歯周症が原因で第3臼歯を2本、抜歯していた。

二年前から頸椎の後頭部側で筋肉痛が発現。枕のせいかなと思いつつも何個となく首に合う枕を探してみたが出会えなかった。又、スーパー銭湯のマッサージで施術してもらったが痛みは治まらず。週一回といえども治療費も嵩むので…

I 整形外科でレントゲン検査後、治療として低周波、温熱、マッサージ治療等を1カ月続けたが、痛みは酷くなるばかりでした。そのときの病状説明は頸椎症であったが「私の病状は頸椎症でしたが、他に原因が無いのでしょうか?」と質問をしたところ「首痛、肩こり、股関節痛、膝蓋骨痛は頸椎症が原因で発現しているのや! ハダニ、殺虫剤等は関係ない」と大層な剣幕で話にならない有様であった。これでは余りにも酷い話なのでS整形外科にTELし、早速受診することにした。当該診察医曰く、「あなたの筋肉痛は頸椎症で説明しきれない個所がありますので、O病院の特に総合診療科で精密検査をして貰って下さい。」ということで、当該病院で半日かけて受診、検査してもらった。後日、検査結果の確認と再診の為、当該病院に向かう為、車に乗ろうとしたが、体中の関節が言うことを聞かないので、無理やりに動かして病院に直行した。主治医は私の容態を見るなり「今から検査入院の為に、直ぐに入院手続きができますか?」と急なことではあったのだが、とりあえず身の周りだけ準備して入院をした。その日はそのまま精密検査を済ませ1週間の入院となった。

検査結果 γ -GT 222
CRP 8.80
血糖 106
リンパ球 9.1% の結果であった。

入院当日の夜からブレドニン錠5mgを7日間投薬。各部位の関節痛は嘘のように消滅した。これで「リウマチ性多発筋痛症」が確定した。退院当日に主治医に次のように指示を受けた。

- *要治療歯 5本抜歯(親知らず2本含む)
- *血糖値 110以下
- *風邪をひかない。
- *けがをしないように注意する。

ブレドニン錠の副作用として以下のような症状がでることがわかった。

- *骨の脆弱化
- *血糖値の上昇化
- *消化性潰瘍等

ステロイド薬剤を投与しない治療法がないものかネットで調べていたところ、「鍼、お灸、漢方薬」で治療する高槻の「松本医院」がヒットした。独自の理論を展開しているのと、「手記」の内容をみて貴院にアクセスしたところ、「明日9時頃来るように」とのことであった。

翌朝、貴院の受付を済ませ初めて松本医院長にお会いした時の印象は「必ず治るから」と力強い太い声であった。又、帰り際「アンタの免疫力がアンタの病気を治すんやで。私らは手助けするだけなんや」が耳に残っている。帰宅するなりステロイド剤の残りを処分し「今から自分の病気を治すぞ」と決意文を書いて見えるところに貼っておいた。

初回の検査結果

γ-GTP 119
CRP 0.16リンパ球 6.0%
血糖 128
単純ヘルペスIgG 90.2
MMP-3 191.3

処方:アシクロビル1日10錠を7日分、薬湯代替品7日分、漢方薬7日分

12月に受診して、2月ごろからリバウンドが始まりだした。手足の関節に異常が無いものの、右手の不自由さと左足底の違和感が発現していた。指示通り、漢方薬とアシクロビル錠を飲み、自宅でお灸をし、通院時に予約した鍼、お灸治療を受けることを実践した。2, 3, 4, 5, 6月と日常生活は不自由なく送り、近くにあるスイミングで水中歩行やストレッチなどを無理なく実行し、

徐々にではあるが快方に向かっているのが実感できた。

7月に入って耳朶と外耳に潰瘍性の瘡蓋が発現し、いつものように診察を受けていると「クラススイッチになりましたネ」といわれました。リウマチからアトピーに切り替わったようだ。皮膚がポロポロと剥がれてゆき、その状況で人前に出ることは、なかなか勇気のいる事で、外出は極力控えた日常生活を送ることになりました。

早く治りたい一心で、風呂、プール、寝る前に、綿棒のお世話になりながら毎日紫雲膏を塗っておりました。痛みから痒みへと変化してゆき、それと並行して症状も少しずつ良くなってゆきました。

1年3ヶ月経過した時点での検査結果は、 γ -GT 46、CRP 0.05以下、リンパ球 28.4%と快方へ向かいつつ、免疫を下げないで、ストレスを溜めない規則正しい習慣を継続中です。松本医院にお世話になってから1年8ヶ月になりましたが、現状は右手の多少の違和感と後首の瘡蓋の残り少々等ですが、ありがたい事に日常生活には支障なく毎日のようにプールで600M位泳ぎ、また、水中歩行し、2、3日に1度位はイベントに参加するために自転車やバスで移動し、何不自由無く生活できております。

合掌